

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	瀬戸内国際芸術祭推進事業		
部 局 名	創造都市推進局	課(室)名	文化芸術振興課
電話番号	087-839-2636		

【事業全体概要】まちづくりの目標：心豊かな人と文化を育むまち

総合計画	政策	地域に根ざした文化芸術の創造と振興		主体	その他
	施策	文化芸術を創造する環境づくり		期間	平成 27年度～平成 28年度
	基本事業	文化芸術の交流・情報発信の推進		総事業費	462,598
重点取組項目	重点取組課題 2		特定財源	国	
関連根拠法令等				県	24,483
事業区分	自治事務	種別	事中・事後	市債	
事業種類	単独			他	10,759
				一般	427,356

事業の概要
文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けた瀬戸内国際芸術祭を、県、関係市町及び福武財団等とともに、瀬戸内国際芸術祭を3年毎に開催する。平成 28年 3月 20日から、瀬戸内国際芸術祭 2016 が開幕となり、本市会場の女木島、男木島、大島、屋島を含む高松港周辺の案内所運営をはじめ、広報等、芸術祭の成功に向け、各事業に取り組む。

【事業の目的と指標】

対象	高松市民	対象指標名	高松市の人口
手段	県を始め、関係自治体および福武財団等が中心となり、直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島などの瀬戸内の島々及び高松港周辺を会場とした国際的な芸術祭、シンポジウム、各種イベントを開催する。	活動指標名	瀬戸内国際芸術祭開催日数
意図	世界に誇る瀬戸内海の島々を、文化芸術の振興により活性化し、交流人口を増加させ、世界に向け情報発信していく。	成果指標名	瀬戸内国際芸術祭来場者数(市内) 次回瀬戸内国際芸術祭の開催準備進捗率
結果	瀬戸内の島々を舞台とした現代アートの祭典を開催することにより、文化芸術の振興、地域の活性化および交流人口の増加が見込める。	効率指標名	コスト百万円当りの開催日数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	目標値	目標年度
対象指標	人	426,707	427,000	427,000	409,000	
活動指標	日	96	0	12		
成果指標	人			19,989		
	%		30			
効率指標	日	1.43	0	0.17		
トータルコスト	[千円]	89,301	14,497	65,858		
(事業費)	[千円]	66,857	5,640	57,001		
(職員人件費)	[千円]	22,444	8,857	8,857		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
新潟県妻有地方で開催されている「大地の芸術祭」を始めとする国際的な現代アートの祭典が、各地で開催され、盛況を呈している状況であり、注目度の高い事業である。	瀬戸内国際芸術祭 2013 全体の来場者数は、瀬戸内国際芸術祭 2010 を大きく上回っている。また、会期終了後も、一部作品を継続公開する一方で、2016年の開催に向けて準備を進めた。	海と島を会場に行われる世界で初めての国際芸術祭であり、加えて各作品の質の高さなどが、都会の若い世代をはじめとする幅広い層に受け入れられたものと考えられ、全国的に芸術祭への関心は、益々高まっていくものと思われる。	島民の意見交換会等では、海上交通での課題や、島の経済活性化についての意見もあったが、芸術祭開催について好意的に評価する声が大多数であった。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か
B 現段階では市による実施が妥当である 瀬戸内国際芸術祭2016においては、県、関係市町及び福武財団などで組織する実行委員会において、本市は副会長であり、負担金を支出しており、市による実施が妥当である。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか
A 貢献度が大きい 本事業は、施策である「文化芸術の振興」のうち、国際的な発信力を持つイベントの推進に位置づけ、定着を図る。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか
B 必要性は中程度 今回の芸術祭開催結果と、次回の社会情勢を考慮し、実行委員会と協議のうえ決定する必要がある。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか
A 影響は大きい 平成27年度における瀬戸内国際芸術祭2016の来場者数は、瀬戸内国際芸術祭2013を上回っており、今、事業を廃止した場合の影響は大きいと思われる。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか）
B 事業にNPO、市民団体等が参画している 瀬戸内国際芸術祭2016は、実行委員会でボランティアサポーター（こえび隊）を募集し、運営しており、また本市では関連イベント等に、地元文化芸術団体の参加を呼びかけている。また、本市主催の事業がパートナーシップ事業にも認定されている。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか
B 向上余地が考えられる（中小程度） 瀬戸内国際芸術祭2016は、実行委員会でボランティアサポーター（こえび隊）を募集し、運営しており、また、本市では関連イベント等に、地元文化芸術団体の参加を呼びかけている。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか）
A 実施済み/実施する必要がなかった 瀬戸内国際芸術祭2016の開催に当たり、案内所業務を委託し、職員の負担減を図った。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか
A 目標以上に達成できた 前回2013の同時期 3月20日～4月2日 の来場者の比較は女木島、男木島、高松港周辺会場において増加し達成できた。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか
B 目標どおり達成できた 瀬戸内国際芸術祭2016は、一部の作品を除き、芸術祭の各作品や施設の鑑賞料が有料のため、作品鑑賞パスポートの販売を促進した。また、細やかな広報や案内所における、来場者への接遇を徹底する等配慮した。
10. コスト縮減ができたか
C 少し縮減できた 限られた予算内で実施するとともに、できるだけ経費の節減に努めている。

【一次評価】

評価区分	継続																						
本事業は、県や他自治体、NPO法人、市民ボランティア等県全体を挙げての事業であり、地域の活性化や交流人口の増加に繋げるのもであり、事業の継続が適当である。																							
改革案																							
内容	期待効果																						
本市の魅力積極的に発信する必要がある。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td rowspan="3"> </td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果		コスト			削減	維持	増加	向上						維持					低下		
成果				コスト																			
				削減	維持	増加																	
		向上																					
		維持																					
		低下																					
	阻害要因																						

【二次評価】

評価区分	継続
本事業は、本市の文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興に加えて、本市の魅力の世界に発信し、地域の活性化に繋げる事業であり、継続実施が適当である。	